

## 2024年度 学校評価結果報告書

日本ウェルネス高等学校

学校運営に関して

重点項目	成果	課題	学校関係者評価委員
たくましさ作りを根底とした、物事を科学する人材の育成・グローバルな人材の養成・質実剛健な人材の養成の建学の精神を掲げている。	完成年度により、グループ校への進学を推進している。寮生のみならず、通学生や在宅生へのフォローがされている。年数回のレポート提出や授業・スクリーニングを設定し、通学率をあげている。	来年度に向け、大々的な転学やコースの拡充を行っており多少の混亂がある。生徒・保護者のフォローを優先して行っているが、システムやメカニズム・分担責任を明確に整備する必要がある。	生徒の通学や来たいと思うコースやイベントを入れている。地域密着型で地域知名度が高い。各面接指導施設、学習センターの協力体制や報連相をとり、生徒数増大分の把握に務めほしい。スポーツのイメージが強いが、音楽部門や一般生への力もいれつつある。通信であるが通学率を伸ばし、進学就職後も1人1人が自立して活躍できるようにすべき。
内部監査等について			
<p>各種PCの劣化があり新規PCに入れることとネットワーク環境（教務・事務・運営）を年度末に整えた。入学、転学が増えていることは好ましいことであるが、それを統制するよう人材配置や習得を行うこと。これにより全国各地にある連携をとること。各拠点部署長に支援援助してもらい新入年度を行うこと。情報戦略の取り組み、地域密着型、地域との協力関係や中学校への販促や営業戦略があるため地元に根ざした財・サービスの提供、本部は部活動推進を行っている長所はあるが、全国通信のため今後は全国拠点との連携や営業戦略の充実が次のステップとなる。</p>			

教育内容に関して

重点項目	成果	課題	学校関係者評価委員
インターネットコースと、通学コースの2本柱にし、多彩なスタイルを設けている。生徒の入学の間口を広げている。音楽・声優・マンガイラスト・スポーツ専攻を設け、個性あふれる校風を目指している。	1人1人が学校に通いたくなる工夫がされている。各専攻が能動的に活動している。	一般生獲得が今後の課題。本校でボランティア・清掃・生活で必要な内容を入れているが、通学生以外にもこの生活必須事項実践をできないかが今後の課題である。	地域密着型であり野球部員の統制がしっかりとされている。音楽イベントでよくウェルネスの名を聞く。ユーチューブでも見ている。生徒の個性や努力がわかる。それにより通学や専攻取得につながると思われる。
内部監査等について			
<p>各生徒にやるべき内容やレポート・試験範囲表・それに関する回収を年数回決めて行っている。大学では掲示板やネットで確認し口講義や試験を受けるようになっているがそのシステムを導入もしくは、導入段階として各生徒が能動的主体的にできるようにしている。逆に各生徒への働きかけや受動的な生徒への関わりをもう少し明文化するとよい。多様多彩な生徒が今後増えていく昨今、どのような生徒でも対応できるようにしておく必要がある。個人目標をもう少し明確にする必要があるが、学習センター・面接指導指導施設によりばらつきがある。各拠点の校風地域風により集客や募集キャッチフレーズがあるので日本ウェルネス高等学校の特色だが、全国共通したノウハウがあるとよい。来年度はカウンセリングや面談の連絡もその都度試行していく様子があり、生徒重視の行動が伺える。</p>			